

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		010101021500		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	妊婦健康診査等補助事業	予算事業名	妊婦健康診査等補助事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名		健康福祉部健康介護課	
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	友上 啓子	担当者名	桂 安邦
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		母子保健法、相生市妊婦健康診査費補助事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に住所を有する妊婦					
	誰(何)を対象として	市内に住所を有する妊婦					
	意図(どのような状態にしたいのか)	妊婦の妊娠期間中における健康診査費用の一部を助成することにより、健診の受診を勧奨し、もって妊婦の健康増進を図る。					
事業の全体年度		事業着手年度		(年度)	事業完了予定年度		(年度)

2 事業の概要 Do

実施の概要		妊娠届時に受診券を交付し、14回10万2千円を限度とし、妊婦健診費用を助成する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	助成券交付者数	人	270	238	238	250	
	受診者数	人	265	236	234	250	
	助成回数	回/人	11.67	12.05	11.29	14	
	助成額	金額/人	84,553	84,859	80,049	102,000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.080	0.036	45	0.104	289	0.096	92	
	臨時職員	0.120	0.072	60	0.040	56	0.120	300	
支出内訳	人件費	1,225,210	812,421	66	1,224,142	151	1,395,534	114	
	事業費	18,638,020	19,288,841	103	18,838,383	98	18,620,000	99	
	合計	19,863,230	20,101,262	101	20,062,525	100	20,015,534	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	19,863,230	20,101,262	101	20,062,525	100	20,015,534	100	
合計	19,863,230	20,101,262	101	20,062,525	100	20,015,534	100		

※ 事業の進捗状況

項目		25年度	26年度	27年度	28年度	
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		受診率							
指標説明(式)		受診者数/助成券交付者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98	99	101.0	98	99.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

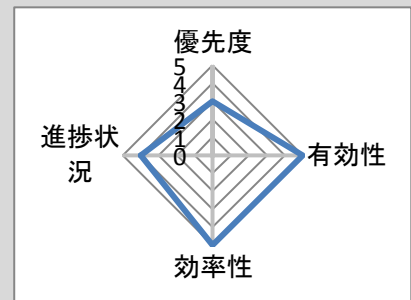
指標名1		母子手帳同時申請者率							
指標説明(式)		受診券交付申請者数/母子手帳交付数(再交付除く)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性			
有効性	成果目標(改善)達成度	妊婦健診の一部助成により、経済的負担が軽減され、定期的な健診受診を図れ、妊娠期の健康管理ができる。	5
効率性	手段の最適性	母子健康手帳交付と同時に申請事務ができる。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	特になし



配点	25
総合評価	20

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	現状維持

(2) 29年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	現段階では特になし
見直事項	現段階では特になし
新規事項	現段階では特になし
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持